

## 大会参加者へのお知らせ

### 1. 会場

大会：沖縄県市町村自治会館

学会総会・受賞講演・懇親会：2F（大ホール）

シンポジウム・一般講演：2F（大ホール）および4F 第2・3、第5・6、第7会議室

ポスター発表：2F ロビー（ホワイエ）

理事・評議会：4F 第7会議室

編集委員会：4F 第1会議室

### 2. 受付

大会会場 2F ロビー（ホワイエ）にて9:00から受付を行ないます。

### 3. 発表者の皆様へ

#### 【口頭発表】

1. ノート型 PC を用いた液晶プロジェクター（PowerPoint ファイル形式）による発表となります。
2. ご自身の持ち込み PC をお使いください。
3. 事前に持ち込み PC による動作確認を行って下さい。
4. 講演時間は12分、討論時間3分です。

#### 【ポスター発表】

1. ポスター会場は、2階ホワイエです。ポスター発表者は、講演要旨集でポスター番号を御確認の上、6月1日（土）の午前中のうちにポスター貼り付けを行って下さい。
2. ポスター討論は6月1日（土）13時40分～14時40分（奇数13:40～14:10、偶数14:10～14:40）に行いますので、発表者はポスターの前にお立ち下さい。ポスターの撤去は翌日14時までに行ってください。
3. 学生が発表するポスター（目印付き）のうち、投票により特に優れているとされたものには優秀ポスター賞（計3名）が授与されます。
4. 学生が発表するポスターのなかで、優れていると思われる講演番号を、大会受付時にお配りしたポスター賞投票用紙に御記入の上、大会受付に設置した投票箱にお入れ下

さい。投票の締め切りは、6月1日（土）17時です。

5. 優秀と認められたポスターは、6月1日（土）懇親会中に発表し表彰します。

#### 【シンポジウム】

1. ノート型 PC を用いた液晶プロジェクター（PowerPoint ファイル形式）による発表となります。
2. ご自身の持ち込み PC をお使いください。
3. 講演時間、討論時間は各シンポジウムによって異なりますので、御注意下さい。

#### 【懇親会】

1. 6月1日（土）18時10分～20時10分、沖縄県市町村自治会館2階ホールにて開催します。
2. 懇親会参加者の名札にはマークが付けられておりますので、御確認下さい。
3. 懇親会会場では、必ず名札を御着用下さい。

#### 【その他】

1. 大会本部（4階第1会議室）、クローク（2階ホワイエ受付脇）を設置します。
2. 企業展示室、休憩室（4階第4会議室）を設置します。

# 会場案内

## 沖縄県市町村自治会館

### ■ アクセスマップ&駐車場案内



### Access

- 空港…… 那覇空港から車で10分
- バス…… バスターミナルから目の前  
徒歩で3分
- モノレール 旭橋駅から目の前  
徒歩で5分

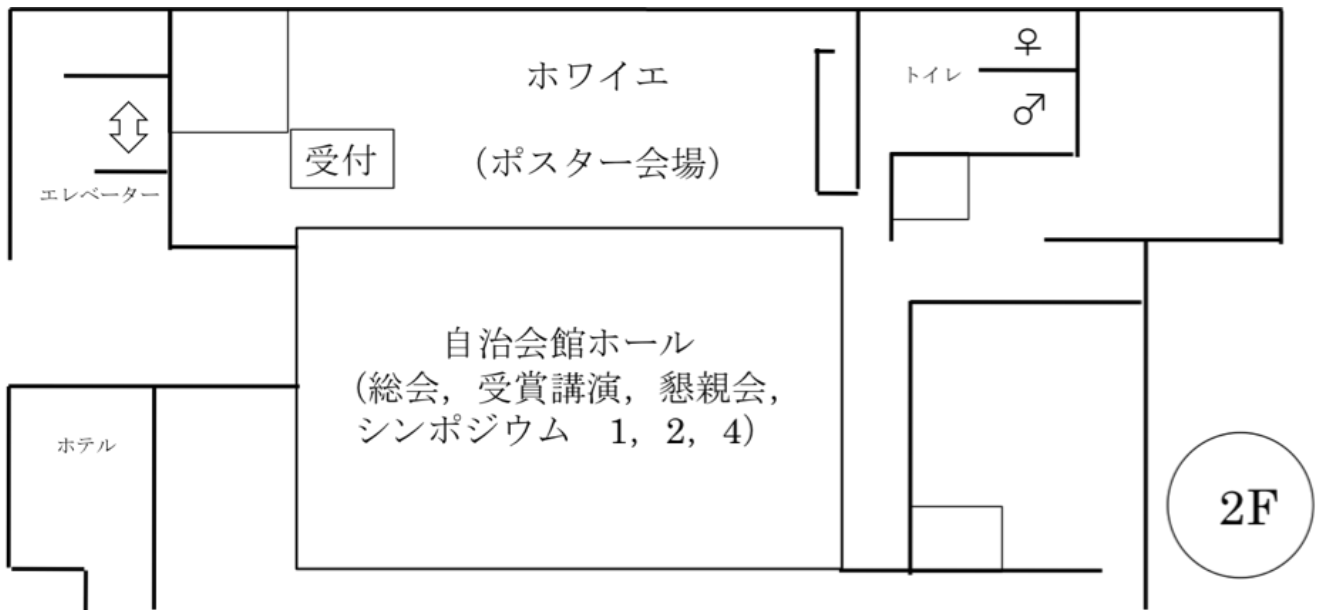


### カフーナ旭橋パーキング

自動発券、自動精算方式の自走式立体駐車場  
175台収容/24時間営業

### ■ 駐車場料金

- 最初の30分まで ……150円
- 最初の1時間まで ……250円
- 1時間以降、30分ごと…100円



ホール A、B：シンポジウム 1、2（分割して使用）

ホール全体：総会、受賞講演、懇親会、シンポジウム 4、公開シンポジウム

ロビー（ホワイエ）：受付、ポスター発表会場



第1会議室：大会本部、編集委員会

第2・3会議室：シンポジウム 3、一般講演

第4会議室：休憩室、企業展示

第5・6会議室：一般講演、シンポジウム 5

第7会議室：一般講演、シンポジウム 6

## 大会会場（沖縄県市町村自治会館 2F, 4F）

2013年6月1日（土）								
	2F ロビー （ホワイエ）	2F ホール A	2F ホール B	4F 第 2・3 会議室	4F 第 5・6 会議室	4F 第 7 会議室	4F 第 1 会議室	4F 第 4 会議室
9:00	受付開始							
10:00	ポスター展示	シンポジウム 1 9:45～12:15	シンポジウム 2 9:45～12:15	シンポジウム 3 9:45～12:15	一般講演 9:45～12:15	一般講演 9:45～12:15	学会事務局	企業展示 ・休憩室
11:00								
12:00								
13:00								
14:00	ポスター発表 奇数 13:40～14:10 偶数 14:10～14:40	ホール全体に組換え 12:30～14:40		ランチョン 12:30～13:30		理事・評議会 12:20～13:35		
15:00	ポスター展示	2F ホール全体 総会 14:45～15:15						
16:00		受賞講演 15:15～16:15						
17:00		懇親会準備 16:20～18:05		一般講演 16:20～18:05	一般講演 16:20～18:05	一般講演 16:20～18:05		
18:00		2F ホール全体 懇親会 18:10～20:10						

2013年6月2日（日）										
	2F ロビー （ホワイエ）	2F ホール全体		4F 第 2・3 会議室	4F 第 5・6 会議室	4F 第 7 会議室	4F 第 1 会議室	4F 第 4 会議室		
9:00	受付開始									
10:00	ポスター展示	シンポジウム 4 9:45～12:15		一般講演 9:45～12:15	シンポジウム 5 9:45～12:15	シンポジウム 6 9:45～12:15	学会事務局	企業展示 ・休憩室		
11:00										
12:00	ポスター撤収 12:00 まで									撤収 12:00 まで
13:00	公開シンポジ ウム受付	ランチョン 12:20～13:20		撤収 12:30 まで					編集委員会 12:30～ 13:30	
		入場 13:30～								
14:00										
15:00		公開シンポジウム 14:00～16:30								
16:00										
17:00										

口頭発表スケジュール

1日目

6月1日(土)	4階 第2・3会議室	4階 第5・6会議室	4階 第7会議室
9:45~10:00		1-A-1	1-E-1
10:00~10:15		1-A-2	1-E-2
10:15~10:30		1-A-3	1-E-3
10:30~10:45		1-A-4	1-E-4
10:45~11:00		1-A-5	1-E-5
11:00~11:15		1-A-6	1-E-6
11:15~11:30		1-A-7	1-D-1
11:30~11:45		1-A-8	1-D-2
11:45~12:00		1-A-9	1-D-3
12:00~12:15		1-A-10	
16:20~16:35	1-B-1	1-A-11	1-C-1
16:35~16:50	1-B-2	1-B-8	1-C-2
16:50~17:05	1-B-3	1-B-9	1-C-3
17:05~17:20	1-B-4	1-B-10	1-C-4
17:20~17:35	1-B-5	1-B-11	1-C-5
17:35~17:50	1-B-6	1-B-12	1-C-6
17:50~18:05	1-B-7	1-B-13	

2日目

6月2日(日)	4階 第2・3会議室	4階 第5・6会議室	4階 第7会議室
9:45~10:00	2-B-1		
10:00~10:15	2-B-2		
10:15~10:30	2-B-3		
10:30~10:45	2-B-4		
10:45~11:00	2-G-1		
11:00~11:15	2-G-2		
11:15~11:30	2-F-1		
11:30~11:45	2-F-2		
11:45~12:00	2-F-3		
12:00~12:15	2-F-4		

# 一般講演プログラム

## 口頭発表

1日目 午前中

### 4階 第5・6会議室

#### A 微生物 (1-A-1~1-A-10) 9:45~12:15

1-A-1 ITO 電極による生きた微生物の付着および剥離の電気制御

○小山純弘<sup>1</sup>、小西正朗<sup>1,2</sup>、大田ゆかり<sup>1</sup>、三輪哲也<sup>3</sup>、秦田勇二<sup>1</sup>、豊福高志<sup>1</sup>、丸山 正<sup>1</sup>、能木裕一<sup>1</sup>、加藤千明<sup>1</sup>、坪内泰志<sup>1</sup> (1 JAMSTEC・海洋極限領域, 2 北見工大・工, 3 JAMSTEC・海洋工学)

1-A-2 真正細菌SMM-7株の細胞破碎抽出液中でのホルムアルデヒドの分解

○石井洋<sup>1</sup>、佐野勝利<sup>1</sup>、山田芳弘<sup>2</sup>、秋山信彦<sup>1</sup>、岡田喜裕<sup>1</sup>、齋藤寛<sup>1</sup> (1 東海大・海洋, 2 (株)ヤマダユニア)

1-A-3 PCR-DGGEによる伊豆赤沢海洋深層水中の微生物群集構造解析

○寺原猛<sup>1</sup>、山口貴大<sup>1</sup>、山田勝久<sup>2</sup>、小林武志<sup>1</sup>、今田千秋<sup>1</sup> (1 海洋大・院, 2(株)ディーエイチシー)

1-A-4 生分解性プラスチックを分解する好圧性微生物*Moritella* sp. strain JT01株の生産するリパーゼの性質

○加藤千明<sup>1</sup>、座間千夏<sup>2</sup>、関口峻允<sup>2</sup>、濱島裕輝<sup>3</sup>、榎牧子<sup>2</sup>、兼廣春之<sup>4</sup> (1海洋機構・極限、2海洋大院・海洋、3立教大院・理、4大妻女子大・家政)

1-A-5 海洋細菌*Jejuia pallidilutea* A1株の新規カロテノイド合成とストレス応答

○高谷直己、西田健太郎、澤辺智雄、宮下和夫、細川雅史 (北大院水)

1-A-6 *Flavobacterium* sp. UMI-01株の粗酵素を用いたアルギン酸からの $\alpha$ -ケト酸の作出

村田安興<sup>1</sup>、井上 晶<sup>1</sup>、田島健次<sup>2</sup>、○尾島孝男<sup>1</sup> (1 北大院・水, 2北大院・工)

1-A-7 *Flavobacterium* sp. UMI-01のアルギン酸リアーゼとその遺伝子クラスター

○井上 晶<sup>1</sup>、高殿晃平<sup>1</sup>、池田祐輔<sup>1</sup>、田島健次<sup>2</sup>、尾島孝男<sup>1</sup> (1北大院・水, 2北大院・工)

1-A-8 アルギン酸リアーゼ生産菌の単離培養および酵素の解析

○高橋真美<sup>1, 3</sup>、モリテツシ<sup>2, 3</sup>、緑川直子<sup>1, 3</sup>、張成年<sup>4</sup>、竹山春子<sup>2</sup>  
(1 早大・先端科学健康医療融合研究機構, 2 早大・先進理工, 3 JST・CREST, 4 中央水産研究所・水産総合研究センター)

1-A-9 シロウリガイ類共生細菌種間のゲノム縮小進化とNER関連 遺伝子の欠失

○島村 繁<sup>1</sup>、金子隆司<sup>1,2</sup>、丸山 正<sup>1</sup>、吉田尊雄<sup>1</sup> (1JAMSTEC・Biogeos, 2東京バイオテクノロジー専門学校)

1-A-10 海洋深層水からの抗酸化活性物質生産微生物の探索

○柴田 雄次<sup>1</sup>、山田 勝久<sup>2</sup>、今田 千秋<sup>1</sup>、寺原 猛<sup>1</sup>、小林 武志<sup>1</sup> (1東京海洋大学大学院, 2(株)ディーエイチシー)

## 4階 第7会議室

### E. 天然物・未利用資源 (1-E-1~1-E-6) 9:45~11:15

1-E-1 *Fucus vesiculosus*由来フコイダンの抗菌活性及び細胞毒性 の比較検討

○ 西口知毅、山口健一、小田達也(長大院水・環総合研究科)

1-E-2 ヒトムチンと共通抗原性を持つミズクラゲ由来成分の特性

○小西良尚<sup>1</sup>, 福田有希<sup>1</sup>, 多賀祐喜<sup>2</sup>, 服部俊治<sup>2</sup>, 兼信正明<sup>3</sup>, 新井克彦<sup>1</sup> (1農工大・農・硬蛋白研, 2(株)ニッピ・バイオマトリックス研, 3友愛記念病院・消化器科/外科)

1-E-3 非リボソーム合成酵素遺伝子を有する細菌特異的なゲノム増幅 法の開発

○岡村好子、高橋宏和 (広島大学先端物質科学研究科)

1-E-4 アラメ属褐藻類から単離したフロロタンニン類の抗酸化性

○柴田 敏行<sup>1</sup>、田丸浩<sup>2</sup>(<sup>1</sup>三重大院・生資, 三重大・新産業創成, JST CREST, <sup>2</sup>三重大院・生資, 三重大・生命研支セ, 三重大・新産業創成)

1-E-5 紅藻ウラソゾ *Laurencia nipponica* 由来バナジウム依存型ブロモペルオキシダーゼの性状解析

○ 金子賢介、鷺尾健司、梅澤大樹、松田冬彦、森川正章、沖野龍文 (北大院環境)

1-E-6 ダルスACE阻害ペプチドの由来タンパク質

○岸村栄毅、宮部好克、古田智絵、安井肇、佐伯宏樹(北大・院水)

### D. 魚介類 (1-D-1~1-D-3) 11:15~12:00

D-1 ニジマスの背中で精子を作る

佐久間大夏、林 誠、○吉崎悟朗(東京海洋大)

D-2 細胞内dsRNA刺激によるLGP2プロモーターの活性化機構の解明

○青木 宙<sup>1</sup>、引間順一<sup>2</sup>、Tae-Sung Jung<sup>3</sup>、竹山春子<sup>4</sup> (1早大・ASMeW, 2宮崎大・農, 3韓国慶尚大・獣医, 4早大・理工)

D-3 ラマン分光法を用いた魚類の *in vivo*での脂質の検出

○引間順一<sup>1</sup>、安藤正浩<sup>2</sup>、濱口宏夫<sup>2</sup>、舞田正志<sup>3</sup>、大島敏明<sup>3</sup>、竹山春子<sup>4</sup>、酒井正博<sup>1</sup>、青木 宙<sup>2</sup> (1宮崎大・農、2早大・ASMeW, 3海洋大、4早大・理工)



## 1日目 午後

### 4階 第2・3会議室

#### B. 微細藻(1-B-1~1-B-7) 16:20~18:05

1-B-1 *Fistulifera* sp. JPCC DA0580株の屋内大量培養による藻体生産

○佐藤朗<sup>1</sup>、一井京之助<sup>1</sup>、松本光史<sup>2</sup>、田中剛<sup>3</sup> (1ヤマハ発動機(株)、2電源開発(株)・技術開発セ、3東京農工大・院・工学)

1-B-2 高オイル産生海洋珪藻*Fistulifera* sp. JPCC DA0580株の屋外培養試験評価

○松本光史<sup>1</sup>、田中剛<sup>2</sup> (1電源開発(株)・技術開発部、2東京農工大・院・工学)

1-B-3 顕微ラマン分光法による海洋珪藻 *Fistulifera* sp. JPCC DA0580 株の脂質イメージング解析

○吉野知子<sup>1</sup>、向井将一郎<sup>1</sup>、安藤正浩<sup>2</sup>、浜口宏夫<sup>2,3</sup>、長田響子<sup>1</sup>、細川正人<sup>1</sup>、田中剛<sup>1,4</sup> (1 東京農工大院, 2 早稲田大・ASMeW, 3 台湾国立 交通大, 4 JST・CREST)

1-B-4 海洋珪藻*Fistulifera* sp JPCC DA0580株の油滴局在タンパク 質の分離と同定

○野島大佑<sup>1,2</sup>、吉野知子<sup>1</sup>、田中 剛<sup>1,2</sup> (1 東京農工大院・工、2 JST・CREST)

1-B-5 分子育種による海洋珪藻*Fistulifera* sp. JPCC DA0580株のグ リセロール資化能の向上

○武藤正記<sup>1,2</sup>、田中祐圭<sup>1</sup>、吉野知子<sup>1</sup>、松本光史<sup>2,3</sup>、田中 剛<sup>1,2</sup> (1 東京農工大院・工、2 JST・CREST、3 電源開発株式会社・若松研究所)

1-B-6 気相および液相中におけるクロレラの光合成と増殖特性 —バイオマス生産の生物学的基礎として—

白武拓磨、磯田春奈、戸谷藍子、出雲旦子、小高徹郎、西條広隆、藤原祥子、○都筑幹夫 (東京薬科大、生命科学)

1-B-7 シアノバクテリアの光生物学的水素生産と気体コスト低減

増川 一<sup>1</sup>、北島正治<sup>2</sup>、井上和仁<sup>2,3</sup>、○櫻井英博<sup>3</sup> (1PRESTO JST, 2神奈 川大・理, 3神奈川大・光合成水素生産研)

### 4階 第5・6会議室

#### A. 微生物 (1-A-11) 16:20~16:35

1-A-11 ウイルスによる超好熱古細菌*Aeropyrum*属のゲノムの多様化

○大福高史、吉田天士、北村崇行、川市智史、井上喬裕、野村敬吾、吉田由唯、左子芳彦 (京大院農)

#### B. 微細藻 (1-B-8~1-B-13) 16:35~18:05

1-B-8 末端対合アンチセンス法による *Synechococcus* sp. NKBG 15041c のグリコーゲン合成抑制

○徳田 彩、木坂 暢介、山田 晃世、小関 良宏(東京農工大院・工)

1-B-9 シアノバクテリア由来緑色センシングプロモーターの改良

○阿部公一1, 2、三宅琴音1, 2、中村真由美1, 2、中島満晴1, 2、小嶋勝博1, 2、Stefano Ferri 1, 2、池袋一典 1, 2、早出広司 1, 2 (1. 東京農工大院工・生命工, 2. JST・CREST)

1-B-10 シアノバクテリアを宿主としたリボレギュレーター による遺伝子発現制御系の開発

○酒井雄大1, 2、阿部公一1, 2、中島沙記1, 2、荒木将貴1, 2、早出広司1, 2、池袋一典1, 2 (1. 東京農工大院工生命工, 2. JST-CREST)

1-B-11 シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC 6803のポリリン酸キナーゼ遺伝子破壊株 ( $\Delta ppkI$ ) の解析

○西弘貴、佐藤典裕、藤原祥子、都筑幹夫 (東京薬科大、生命科学)

1-B-12 Distribution of protistan microplankton along Kuroshio Current: its interplay with ecological variability revealed by 18S rRNA gene clone analysis

○ Sau Pin Kok and Norio Kurosawa (Faculty of Engineering, Soka University)

1-B-13 ラビリントラ類の構成属と現存量の継続的調査

○上田真由美1、土井耕作1、中嶋昌紀2、本多大輔3 (1甲南大・院・自然科学, 2大阪環農水研, 3甲南大・理工)

#### 4階 第7会議室

##### C. 海藻・付着生物 (1-C-1~1-C-6) 16:20~17:50

C-1 紅藻スサビノリにおける新規高温誘導性遺伝子の探索

○ 尾島信彦1、中村洋路1、安池元重1、小林正裕2 (1水研セ中央水研、2水研セ西海水研)

C-2 海産紅藻スサビノリのゲノム解読

○ 中村洋路1、佐々木直文2、小林正裕1、尾島信彦1、安池元重1、重信裕弥1、里見正隆1、福岡義也3、塩飽恒史3、辻本敦美4、小林敬典1、中山一郎5、伊藤文成1、中島員洋1、佐野元彦1、和田時夫1、久原哲6、井上潔1、五條堀孝2、池尾一穂2 (1水研セ, 2遺伝研, 3日立ソリューションズ, 4日本ソフトウェアマネジメント, 5水産庁, 6九州大)

C-3 フジツボ水中接着蛋白質のアミロイド様 コンフォメーション

○紙野 圭 (東理大総研)

C-4 表面微細構造上におけるフジツボキプリス幼生の探索行動

○ 室崎喬之1、神野達哉2、阿部賢太郎2、野方靖行3、下村政嗣1, 4, 5 (1東北大WPI-AIMR、2東北大大院工、3電中研、4東北大多元研、5JST-CREST)

C-5 表面微細構造上におけるフジツボキプリス幼生の着生

○ 阿部賢太郎1、神野達哉1、室崎喬之2、野方靖行3、下村政嗣2, 4, 5 (1東北大大院工、2東北大WPI-AIMR、3電中研、4東北大多元研、5JST-CREST)

C-6 マガキ幼生に対するバクテリアの付着誘起効果

○ 橋本 京太郎、Vasquez Hebert Ely、北村 等、サトイト シリル グレン (長大院水環)

## 2日目 午前

### 4階 第2・3会議室

#### B. 微細藻 (2-B-1~2-B-4) 9:45~10:45

2-B-1 珪藻に感染するウイルス由来プロモーターの活性評価

○角野貴志1、山口亜利沙2、外丸裕司3、長崎慶三3、岡見卓馬4、吉良望5、福永一成1、山口晴生1、大西浩平6、足立真佐雄1 (1高知大・農, 2高知大・医, 3水総セ, 4高知県庁, 5愛媛大・連農, 6高知大・総研セ)

2-B-2 海産珪藻の炭化水素生合成に関わる酵素群の RNA-Seqによる遺伝子発現解析

福永一成・吉松孝倫・大西裕美・角野貴志・山口晴生・○足立真佐雄(高知大・農)

2-B-3 円石藻 *Emiliania huxleyi* における超長鎖脂質の生理機能の解析

○井原希1,2、新家弘也1,2、鈴木石根1,2、白岩善博1,2 (1筑波大・生命環境, 2JST・CREST)

2-B-4 トランスクリプトーム解析による円石藻特有の脂質代謝解析

○新家弘也1,2、馬場将人1,2、鈴木石根1,2、白岩善博1,2 (1筑波大・生命環境系, 2JST・CREST)

#### G. 環境・環境適応 (2-G-1, 2-G-2) 10:45~11:15

2-G-1 深海由来好冷好圧性細菌の イソプロピルリンゴ酸脱水素酵素の耐圧性の解明

○濱島裕輝1,4、永江峰幸2、渡邊信久2,3、牧野龍1、今井竹夫1、山田康之1、加藤千明4 (1立教大・理, 2名大・工, 3名大シンクロトン, 4JAMSTEC))

2-G-2 オートファジーによるメチル水銀解毒機構

○今村伸太郎, 山下倫明 (水研セ中央水研), 藪健史 (日大生物資源)

#### F. バイオミネラリゼーション (2-F-1~2-F-4) 11:15~12:15

2-F-1 六放海綿カイロウドウケツのシリカバイオミネラルに関わるタンパク質

○清水克彦 (鳥取大・産学)

2-F-2 アコヤ貝のチロシナーゼ様遺伝子の解析

○高木亮介, 庄村悠児, 柏木裕晴, 宮下知幸 (近大・生物理工)

2-F-3 アコヤガイの殻皮に含まれるタンパク質 (PPP) の構造および機能解析

○鈴木道生1、中山誠志1、遠藤博寿1、飯村九林1、木下滋晴1、渡部終五1、小暮敏博2、長澤寛道1 (1東大・院農, 2東大・院理)

2-F-4 酸化鉄バイオミネラリゼーションに関わるMms6タンパク質の部 分配列欠損による機能領域の同定

○新垣篤史、成宮香織、山岸彩奈、松永是 (東京農工大院工)

## ポスター発表

### A. 微生物

P-A-1 重金属耐性光合成細菌を用いた金属除去能の研究

○松尾忠明 1、秋庸裕 1、田島誉久 1、松村幸彦 2、中島田豊 1、岡村好子 1(広島大学・1 先端物質科学研究科、2 工学研究院)

P-A-2 海洋性放線菌を生体触媒として用いる光学活性化化合物の生産

○石原 浩二<sup>1</sup>・中島 伸佳<sup>2</sup>・益岡 典芳<sup>1</sup>・濱田 博喜<sup>1</sup>(1岡山理大・理, 2岡山県立大・保健福祉)

P-A-3 耐冷耐アルカリ性微生物*Brevundimonas abyssalis*のゲノム解析

○坪内泰志、西真郎、臼井けい子、丸山正、秦田勇二 (JAMSTEC・Biogeos.)

P-A-4 海洋性真核微生物*Schizochytrium aggregatum* ATCC 28209株の増殖に対するアンモニアの影響

○藤本彩乃<sup>1</sup>、田岡洋介<sup>1</sup>、岡戸ゆう<sup>1</sup>、長野直樹<sup>1\*</sup>、林雅弘<sup>1</sup>(1宮大・農, \*現所属 九大院・農)

P-A-5 海洋性真核微生物ラビリントラ類のリン脂質組成

○長友宏子、田岡洋介、河村満、林雅弘 (宮崎大・農)

P-A-6 養魚排水を利用した海洋性真核微生物*Aurantiochytrium limacinum* mh0186株の培養とDHA生産

○日高一彰、林雅弘、田岡洋介 (宮崎大・農)

P-A-7 次世代シーケンサーを用いたクロイソカイメン常在微生物群集構造解析

○西島美由紀<sup>1</sup>、富田順子<sup>1</sup>、高橋俊輔<sup>1</sup>、丸山 正<sup>2</sup> (1テクノスルガ・ラボ・技術部、2 (独) 海洋研究開発機構)

P-A-8 ラビリントラ類(ヤブレッツボカビ類)の属特異的 定量PCR による現存量評価法の開発

柏原克彦<sup>1</sup>、村瀬良太<sup>2</sup>、西脇瞳<sup>2</sup>、中井亮佑<sup>3, 4</sup>、○長沼毅<sup>1</sup> (1広島大・院生物圏, 2広島大・生物生産, 3遺伝研・系統生物セ, 4学振・特別研究員SPD)

P-A-9 ホヤ由来放線菌が生産する芳香族ポリケタイド化合物のヒアルロニダーゼ阻害活性と諸性状

○春成 円十朗<sup>1</sup>、今田千秋<sup>1</sup>、五十嵐康弘<sup>2</sup>、寺原猛<sup>1</sup>、小林武志<sup>1</sup> (1 海洋大・院, 2富山県大・生工研セ)

P-A-10 ハマグリ腸内容物から分離された乳酸菌の特徴

○内田潤也、高梨志保里、成田知世、阿部江子、崎田 祥、糸井史朗、杉田治男 (日本大学生物資源科学部)

P-A-11 潮間帯のニホンスナモグリから単離した放線菌の抗真菌活性

○渡邊恵三、今田千秋、小林武志、寺原 猛(海洋大・院)

P-A-12 Functional extracellular alginate lyases of *Vibrio haliotocoli* IAM 14596T are up-regulated in the alginate metabolism

○F. Gao<sup>1</sup>, T. Tachioka<sup>1</sup>, K. Kuga<sup>1</sup>, S. Nakagawa<sup>1</sup>, F. Maruyama<sup>2</sup>, Y. Ogura<sup>3</sup>, T. Hayashi<sup>3</sup>, K. Kurokawa<sup>4</sup>, T. Sawabe<sup>5</sup>, and T. Sawabe<sup>1</sup> (1Hokkaido Univ., 2TMDU, 3Univ. of Miyazaki, 4TITECH, 5HJC)

## B. 微細藻類

### P-B-1 微細藻類の抗変異原性

○竹中 裕行 1, 小原 章裕 2, 湊 健一郎 2, 山口 裕司 1 (1 マイクロアルジェコーポレーション(株)・MAC総研, 2 名城大・農)

### P-B-2 ラビリントウモロコシ類の細胞内構造比較による系統学的考察

○岩田いづみ1, 本多大輔2(1甲南大・自然科学, 2甲南大・理工)

### P-B-3 亜硫酸がシアノバクテリアの脂質合成系へ及ぼす影響

森田彩子、小林里美、都筑幹夫、○佐藤典裕(東京薬科大学・生命)

### P-B-4 *Nostoc* sp. strain PCC7422 $\Delta$ HupLのMo型ニトロゲナーゼ遺伝子破壊によるV型ニトロゲナーゼの優先的発現

○佐藤剛1、増川一2、北島正治1、櫻井英博3、井上和仁1,3 (1神奈川大学・理, 2PRESTO, 3神奈川大学光合成水素生産研究所)

### P-B-5 藍藻 *Spirulina platensis* の効率的なフィコシアニン産生株の作出 と解析

○田村 翔1、松永 直樹2、村勢 則郎1,2 (1東京電機大・院, 2東京電機大・理工)

### P-B-6 基物表面から単離した気生微細藻類と窒素固定菌の共培養の 検討

○荒川冬樹、油井信弘、阿部克也 (工学院大・工)

### P-B-7 気生微細藻類 *Coccomyxa* sp. KGU-D001の脂質蓄積・分解の特徴 付け

○石渡岳大、油井信弘、阿部克也 (工学院大・工)

### P-B-8 気生微細藻類 *Scenedesmus* sp. KGU-Y002を用いたカロテノイド 生産の光培養条件の検討

○隅田大地、油井信弘、阿部克也 (工学院大・工)

### P-B-9 オーランチオキトリウム属 (ラビリントウモロコシ類) の系統分類

○土井耕作1, 松本和樹2, 上田真由美1, 本多大輔2 (1甲南大院・自然科学, 2甲南大・理工)

### P-B-10 壁面をハビタートとする気生微細藻類におけるカロテノイド および脂肪酸組成

○油井信弘、阿部克也 (工学院大・工)

### P-B-11 *Synechococcus* sp. NKBG15041c の有する 耐塩性関連遺伝子の探索と応用

○杉山純哉、木坂陽介、山田晃世、小関良宏(東京農工大院・工)

### P-B-12 ヤブレッツボカビの分離源による傾向

○瀬戸雄飛1、平石皇志2、須田章一郎2 (1琉大・理工, 2琉大・理)

### P-B-13 耐乾燥性が窒素固定能に関与する可能性を考慮した耐乾燥性ラン藻の有効利用と放射性物質除去の取り組み

○加藤 浩1、古川 純2、横島 美香3、木村 駿太3、富田-横谷 香織3、山口 裕司4、竹中 裕行4 (1 三重大・生命セ、2 筑波大・RI総合セ、3 筑波大学・生命環境、4 マイクロアルジェ (株))

### P-B-14 単細胞パターンニングによる海洋珪藻 *Fistulifera* sp. JPCC DA0580株のオイル蓄積過程のタイムラプス解析

○長田響子1、細川正人1、吉野知子1、田中剛1,2 (1 東京農工 大院・工、2 JST・CREST)

### P-B-15 沖縄県海域からの高オイル生産微細藻類の探索

○古賀啓太、松田友彦、國吉杏子、豊里恵、秋山清隆（オーピーバイオフィクトリー株式会社）

P-B-16 シアノバクテリアKC1株で機能するChl f の物性

○小松悠久<sup>1</sup>、藤沼大幹<sup>1</sup>、渡辺 正<sup>2</sup>、亀山 眞由美<sup>3</sup>、小野裕嗣<sup>3</sup>、大久保智司<sup>4</sup>、宮下英明<sup>4</sup>、小林正美<sup>1</sup>（<sup>1</sup>筑波大・物質工学域、<sup>2</sup>東京理科大学・総合教育機構、<sup>3</sup>食品総合研究所、<sup>4</sup>京都大学大学院・人間・環境）

P-B-17 藻類の効率的抽出に向けた培養と液濃縮に関する基礎的研究

○濱邊友理

## C. 海藻・付着生物

P-C-1 スサビノリ系状体におけるプロモホルム生成と付着細菌の応答

○松田竜也<sup>1</sup>、Yan Mengjie<sup>1</sup>、武智克彰<sup>1</sup>、高野博嘉<sup>1</sup>、瀧尾進<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>熊本大院・自然、<sup>2</sup>熊本大沿岸域センター）

P-C-2 **Ethanol- utilizing epiphytic bacteria from of the red alga *Porphyra yezoensis* and the seagrass *Zostera marina*.**

○Midia Handayani<sup>1</sup>、Hiroyuki Sasaki<sup>1</sup>、Ryuya Matsuda<sup>1</sup>、Katsuaki Takechi<sup>1</sup>、Hiroyoshi Takanol、Susumu Takio<sup>2</sup>（Kumamoto University <sup>1</sup> Grad. Sch. of Sci. and Technol., <sup>2</sup>Center for Mar. Env. Stud.）

## D. 魚介類

P-D-1 深海性共生二枚貝における無機炭素取込み機構の解明

○本郷悠貴<sup>1,2</sup>、生田哲朗<sup>1</sup>、島村繁<sup>1</sup>、高木善弘<sup>1</sup>、丸山正<sup>1,2</sup>、吉田尊雄<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>.（独）海洋研究開発機構、<sup>2</sup>. 東京海洋大学）

P-D-2 深海性二枚貝のモノクローナル抗体ライブラリーの構築

○大石和恵<sup>1</sup>、中村欽光<sup>1</sup>、関根大介<sup>1</sup>、日下智保<sup>1</sup>、本郷悠貴<sup>1</sup>、多米晃裕<sup>2</sup>、中澤正年<sup>3</sup>、藤島政博<sup>4</sup>、三宅裕志<sup>5</sup>、吉田尊雄<sup>1</sup>、丸山正<sup>1</sup>（<sup>1</sup>海洋研究開発機構、<sup>2</sup>（株）マリンワーク・ジャパン、<sup>3</sup>横浜市大・医、<sup>4</sup>山口大・理、<sup>5</sup>北里大・海洋生命）

P-D-3 アラキドン酸やドコサペンタエン酸など有用脂肪酸の探索：数種の軟体動物脂質の検討

○齋藤洋昭<sup>1</sup>、久保弘文<sup>2</sup>、井岡 久<sup>3</sup>（<sup>1</sup>中央水研、<sup>2</sup>沖縄水海セ、<sup>3</sup>島根水 技セ）

P-D-4 クルマエビの **Chromobox protein (CBX) の cDNA クローニング**

○秋元岬平、大平剛（神奈川大・理）

P-D-4 Temperature effects on the expression of amhy and amha during gonadal development in pejerrey *Odontesthes bonariensis*

○Yan Zhang, Munti Sarida, Ricardo S. Hattori, Yoji Yamamoto and Carlos A. Strüssmann (Tokyo University of Marine Science and Technology)

## E. 天然物・未利用資源

P-E-1 哺乳動物細胞の細胞接着を制御するミズクラゲ由来成分 について

○山田晴菜1, 小西良尚1, 福田有希1, 宮内絵理1, 多賀祐喜2, 服部俊治2, 新井克彦1 (1農工大・農・硬蛋白研, 2(株)ニッピ・バイオマトリックス研)

P-E-2 好塩性細菌を用いた海藻の分解と有用物質エクトインの合成

○田辺祥子 1、二神学司 2 (1 滋賀県大・環境, 2 神戸大・海事)

P-E-3 マイクロシスチンLRの毒性抑制能を有す生薬成分の探索

○居川康博 1、青木俊二 2、杉山靖正 1、内匠正太 3、古川龍彦 4、小松正治 1 (1 鹿大・水産, 2 兵庫医療大学・薬, 3 慈恵医大・医, 4 鹿大院・医歯研)

P-E-4 天然由来酵素阻害剤による釣り餌用生エビ類の劣化防止効果

○今田千秋1, 山口 (櫻庭) 清香2, 山田勝久1, 寺原 猛1, 池田吉用1, 長岡 寛3 (1 海洋大・院, 2 (株)ティーエスアイ, マルキュー(株))

P-E-5 焼酎粕を用いたラビリンチュラ類の培養と脂質生産

○田岡洋介、林雅弘 (宮崎大・農)

P-E-6 Remazol Brilliant Blue Rを指標とした海洋性真核微生物ヤブレッツボカビ類によるリグニン処理能力の評価

○深谷一斗、林雅弘、田岡洋介 (宮大・農)

P-E-7 海洋性子囊菌ペスタロチオプシス属のリグノセルロース 分解系

○紙野 圭1、安 善榮1、天野 良彦 2 (1 NITE、2 信大工)

P-E-8 沖縄県産海洋生物資源ライブラリーの構築

金本 昭彦、○ 藤原 健史、栗原 祐子 (オーピーバイオファクトリー株式会社)

P-E-9 海洋生物由来抽出物ライブラリーの生理活性評価

○松田友彦、國吉杏子、古賀啓太、倉場静子、植松哲生、秋山清隆 (オーピーバイオファクトリー株式会社)

P-E-10 サンゴ礁生物由来の細胞毒性成分の探索

○和宇慶 剛、田中 淳一(琉大・理)

P-E-11 海洋微生物由来の細胞壁合成阻害活性物質の探索

○安慶名顕栄1、田中淳一1、松川達哉1、石見盛太2、小林啓子2 (1 琉大・理、2 OP バイオ)

P-E-13 Search for cytotoxic molecules from coral reef organisms

○Peni Ahmadi、Wilmar Maarisit、Junichi Tanaka (Univ. Ryukyus・Fac. Science)

P-E-14 New diterpenes from an Okinawan soft coral *Xenia* sp.

○Wilmar Maarisit 1, Shintaroh Yano 1, Junsei Taira 2 and Katsuhiko Ueda 1 ( 1Department of Chemistry, Biology and Marine Science, University of the Ryukyus. 2Department of Bioresource Technology, Okinawa National College of Technology)

P-E-15 クサフグは同属の有毒卵からもTTXを摂取する

○糸井史朗、石塚健人、瀧本成美、光岡涼子、横山直人、高梨志保里、野口俊輔、杉田治男 (日大・生物資源)

P-E-16 沖縄産未同定カイメン由来の骨形成促進物質の探索

○山田美希、末吉康佑、照屋俊明（琉大・教育）

P-E-17 ラン藻*Nostoc sphaericum*の新規マイコスポリン様アミノ酸の同定と生理活性

○石原賢司1、山下倫明1、渡邊龍一1、鈴木敏之1、竹中裕行2、坂本敏夫3（1水研セ・中央水研、2マイクロアルジェコーポレーション（株）、3金沢大学・理工・自然システム）

P-E-18 南氷洋産ヒモムシ(*Lineus corrugatus*)の成分研究

○栗田 真帆1、稲垣 昌宣1、西村 基弘1、小川 麻里2、伊村 智3(1安田女大・薬、2安田女大・教育、3国立極地研)

P-E-19 リュウキュウスガモ抽出物がサンゴ幼生に与える影響

○末吉康佑 1、中野義勝 2、井口亮 2、照屋俊明 3（1琉大・理工、2琉大・熱生研、3琉大・教育）

P-E-20 沖縄微生物ライブラリーを活用した新規シデロフォアの単離・構造決定

○廣瀬美奈 1、長浜夏樹 1、大城要平 1、安元（森）加奈未 2、安元純 3、安元剛 4（1（株）トロピカルテクノセンター事業推進部、2徳島文理大・香川薬学、3琉大・農、4北里大・海洋生命）

P-E-21 マイクロシスチンLRの毒性抑制能を有す生薬成分の探索

○居川康博 1、青木俊二 2、杉山靖正 1、内匠正太 3、古川龍彦 4、小松正治 1（1鹿大・水産、2兵庫医療大学・薬、3慈恵医大・医、4鹿大院・医歯研）

P-E-22 カイメン共在バクテリアメタゲノムライブラリーを用いた抗炎症ペプチドの*in silico*スクリーニング

○椎田敦之1、鈴木克彦2、竹山春子3、岡村好子1(1広島大先端物質科学、早稲田大・2スポーツ科学、3先進理工)

## F. バイオミネラルリゼーション

P-F-1 三陸沖海溝の深海底から分離されたセレン・テルルオキサニオン還元性微生物の系統分類

○阪口利文1、平岡達也1、仲宗根薫2、加藤千明3(1県立広島大・生物環境、2近畿大・工、3JAMSTEC・極限生物圏)

## G. 環境・環境適応

P-G-1 マガキのタウリン生合成は高塩ストレスにより活性化される

○細井公富、水田尚志、横山芳博（福井県大・海洋生物資源）

P-G-2 *Euglena gracilis*におけるペルオキシレドキシンの機能解析

○玉木 峻1,3、丸田隆典1,3、澤 嘉弘1、重岡 成2,3、石川孝博1,3（1島根大・生資科、2近畿大・農、3JST・CREST）

P-G-3 次世代シーケンサーを用いた*Euglena gracilis*の遺伝子発現解析

○石川孝博1,3、丸田隆典1,3、田茂井政宏2,3、重岡 成2,3（1島根大・生資科、2近畿大・農、3JST・CREST）

P-G-4 駿河湾産ミズウオの体内に蓄積するPCBs、DDTsに関する研究

○増田 知也、堀江 琢、秋山 信彦、齋藤 寛（東海大海洋）



## H. マリノゲノム

P-H-1 カイメン共生細菌メタゲノムライブラリーを用いた抗炎症ペプチドのin silicoスクリーニング

○椎田敦之<sup>1</sup>、鈴木克彦<sup>2</sup>、竹山春子<sup>3</sup>、岡村好子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大先端物質科学、早稲田大・<sup>2</sup>スポーツ科学、<sup>3</sup>先進理工)

P-H-2 単一海藻種給餌による海産無脊椎動物腸内細菌叢の変化

○渡邊幸太郎<sup>1</sup>、モリテツシ<sup>1,2</sup>、緑川直子<sup>2,3</sup>、張成年<sup>4</sup>、竹山春子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>早大・先進理工、<sup>2</sup>JST・CREST、<sup>3</sup>早大・先端科学健康医療融合研究機構、<sup>4</sup>中央水産研究所・水産総合研究センター)

P-H-3 コンブにおけるDNA分析の簡易化に関する検討

○清水健志<sup>1</sup>、井口潤<sup>2</sup>、加藤祐樹<sup>1</sup>、八十川大輔<sup>3</sup>、井上品<sup>4</sup>(<sup>1</sup>道工技セ、<sup>2</sup>FAMIC、<sup>3</sup>道総研・食加研、<sup>4</sup>北大院水)

P-H-4 シチヨウシンカイヒバリガイ共生菌のゲノム解読と、水素酸化遺伝子群をはじめとした遺伝子座の有無で分けられるヘテロな亜集団の宿主内での局在解析

○生田哲朗、高木善弘、島村繁、長井裕季子、津田美和子、丸山正、吉田尊雄(海洋研究開発機構)

P-H-5 DNAシーケンサー・PAC Bioを用いた海洋中微生物群集解析の試みとその展望

○植松哲生、倉場静子、古賀啓太、渡邊崇史、秋山清隆(オーピーバイオファクトリー株式会社)

P-H-6 クルマエビI型リゾチーム遺伝子の発現解析

○西原史晃、井上僚、野崎玲子、近藤秀裕、廣野育生(東京海洋大学)

## J. その他

J-P-1 ヒト肝細胞トランスポーターOATP1B3を介したオカダ酸の毒性発現機構

○防田真哉<sup>1</sup>、栗本隆史<sup>1</sup>、杉山靖正<sup>1</sup>、内匠正太<sup>2</sup>、古川龍彦<sup>3</sup>、小松正治<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鹿大・水産、<sup>2</sup>慈恵医大・医、<sup>3</sup>鹿大院・医歯研)

J-P-2 JAMSTECの生物サンプルデータベース

○丸山正<sup>1</sup>、伊勢戸徹<sup>1</sup>、齋藤暢之<sup>1</sup>、一柳麻里香<sup>2</sup>、北山智暁<sup>1</sup>、土田真二<sup>1</sup>、田中克彦<sup>1</sup>、齋藤秀亮<sup>1</sup>、新井隆弘<sup>2</sup>、久積正具<sup>2</sup>、華房康憲<sup>1</sup>、藤倉克則<sup>1</sup>(<sup>1</sup>JAMSTEC、<sup>2</sup>マリンワークジャパン)

## 学会総会および受賞講演

平成 25 年度マリンバイオテクノロジー学会通常総会  
6 月 1 日 (土) 14:45 ~ 15:15 (2 階 ホール全体)

マリンバイオテクノロジー学会論文賞・学会賞受賞講演  
6 月 1 日 (土) 15:15 ~ 16:15 (2 階 ホール全体)

15:15 ~ 15:45 マリンバイオテクノロジー論文賞受賞講演

【座長：嵯峨直恆（北海道大学）】

最も高度にバナジウムを濃縮するバナジウムボヤのEST解析による  
新規バナジウム結合タンパク質Vanabinの同定

セティジョノ・サミーノ1, 道端 齊1, ○植木龍也1,2  
(広島大学・院理・1 生物科学専攻, 2 附属臨海実験所)

15:45 ~ 16:15 マリンバイオテクノロジー学会賞受賞講演

【座長：伏谷伸宏（一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構）】

セレノネインの発見とその生理作用の解析に関する研究

山下倫明（水産総合研究センター中央水産研究所）

## シンポジウム

### シンポジウム 1

マリンゲノミクス その新たな躍動  
6月1日(土) 9:45~12:15 (2階 ホール半分 A)  
企画責任者: 佐藤矩行

### シンポジウム 2

海洋生物のバイオミネラリゼーション  
6月1日(土) 9:45~12:15 (2階ホール半分 B)  
企画責任者: 安元剛

### シンポジウム 3

微細藻類の可能性  
6月1日(土) 9:45~12:15 (4階 第2・3会議室)  
企画責任者: 相澤克則, 宮地重遠

### シンポジウム 4

マリンバイオエナジー  
6月2日(日) 9:45~12:15 (2階 ホール全体)  
企画責任者: 竹山春子

### シンポジウム 5

ラビリントチュラ類を用いたバイオテクノロジーの展望  
6月2日(日) 9:45~12:15 (4階 第5・6会議室)  
企画責任者: 伊東信

### シンポジウム 6

沖縄の海洋天然物資源- 現状と展望  
6月2日(日) 9:45~12:15 (4階 第7会議室)  
企画責任者: 田中淳一